

東田地区

「2050まちづくりビジョン」の 実現に向けて

官民が将来のまちの姿を共有し、互いに連携して
まちづくりを推進し、東田のまちが、多くのファンを獲得できる
「選ばれるまち」となるため、一緒に力を合わせていきましょう。



2050 まちづくりビジョン

本ビジョンは、
市と民間が将来に向かって
同じ方向へと進んでいくための
羅針盤となるもの
です。

北九州市建築都市局都市再生企画課
〒803-8501

北九州市小倉北区内1番1号

TEL 093-582-2502

FAX 093-561-7525

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ken-to/08100124.html>

発行 令和4年3月

北九州市印刷物登録番号 第2116029C号



東田地区 HIGASHIDA AREA

▶ 策定の背景

人口急減、超高齢社会を迎えるなか、持続可能な都市形成のためには、官民が連携して、効率的な都市整備や生活拠点の魅力向上を図ることが重要です。

そこで、官民が将来に向かってまちのビジョンを共有し、同じ方向に向かってまちづくりに取り組むため、地区の将来像を示す、「まちづくりビジョン」を策定しました。

▶ ビジョンの目的・役割

市にとって

市が考える将来目指すまちづくりの方向性について、あらかじめ明示する「メッセージ」となるもの

民間にとって

まちづくりへ投資を行う際、一つの重要な「判断材料」とするもの

市と民間にとって

お互いにベクトルを合わせ、将来に向かって同じ方向へと歩んでいくための「羅針盤」となるもの

▶ 目標年次

一世代先の将来を見据え、2050年を目標年次としています。

▶ 対象エリア

スペースワールド駅周辺
概ね1kmのエリア



【対象エリア】

▶ 「将来トレンド」と「地区特性」から描く2050年のまちの姿



【これからの社会で「当たり前」になっていく価値観】



【地区の強みと課題】

ビジョンの 描き方

STEP.3

「将来トレンド」と「地区特性」から地区の「将来の姿」を描く



▶ まちづくりの方針

- 01 広場・公園を核としたシンボリック空間
- 02 「まちごとアート」など、遊び心あふれる場
- 03 実証フィールドの提供、実装に向けたサポート等、チャレンジする企業のバックアップ環境
- 04 先端技術のショーケース・ラボ
- 05 広域から集客し、市内に送り出す集客ポンプ
- 06 拠点性の高いステーション

